

布引だより



令和5年4月28日

No. 2

～ 一人ひとりがキラリ輝く布引の子 ～

<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

若葉の黄緑色が、目にまぶしい季節となりました。1年のうちで一番「いのちの輝き」を感じる季節です。布引小の子どもたちも、始業式から3週間がたち、新しい学年で張り切って過ごしています。なかには、新しい環境に慣れるのに戸惑っている子もいますが、少しずつ自分の持ち味を發揮していってくれたらいいなあと思っています。

2023年度 布引小学校グランドデザイン

さて、今年度も布引小学校の子どもたちが「キラリ輝く」ための計画のもととなる「布引小学校グランドデザイン」を策定しました。詳しくは、ホームページ等でご確認いただきたいと思います。ここでは、その中のいくつかを紹介したいと思います。

○「もっとやろう」子どもがわくわくする授業づくり
・課題解決型学習の実践
※子どもたちが、授業を「受ける」ばかりではなく、自ら課題を見つけ解決していくワクワク感のある学習を目指していきます。



○子どもの自主的な集団づくり
・学級活動の充実
・代表委員会、登校班長会議などによる子どもたち自身で決めたルールの尊重
※子どもたちが、一人一人の違いを認めつつ十分に話し合い、自己決定していく場を大事にしていきます。「学級会」の学習参観も行いますので、ぜひお越しください。

○あいさつの通い合う学校
・自発的なあいさつを児童会、学級会、登校班長会から発信
※あいさつは「する」ものではなく、「交わす」ものです。機械的な発声だけではなく、相手に関心を寄せることで、自然とあいさつを交わす人が増えるよう、校長がまず子どもたち一人一人に心を寄せてあいさつをしていこうと思います。

今月の一言 (& 二言三言) 「子どもと向き合おうとしているすべてのおとなのために、今必要な一言がきっと見つかる」というテーマで、毎月一言(ちょっとおまけの二言三言がついてきますが…)を紹介していきます。

子どもの今を OK とするために まずは、自分の今に OK と言おう



子育てや人生を山登りに例えるなら、これから登る上の道ばかり見るのではなく、登って来た道を見ると、そこから見える景色も決して悪くないと気づくでしょう。「がんばっている自分にOKと言う」ことを今日から自分自身の心の中で唱えましょう。(『かかわりの糸を結ぶ21の言葉』2017 文溪堂 曾山和彦)